



## 大好き!「栃木県産」 “とちおとめ”スイーツフェア

4月22日(金)・23日(土)の2日間、栃木県主催で、池袋サンシャインシティ・アルパB1噴水広場にて、福島第一原子力発電所の事故による風評被害を一掃し、本県観光地や農産物の安全・安心を首都圏の消費者に広くPRするイベント「がんばろう日本!とちぎの観光と農産物フェア」が開催された。

ステージでは、福田富一県知事による安全宣言や観光PR、義援金募金のほか、いくつかイベントも行われ、「栃木未来大使」などが応援にかけつけフェアを盛り上げた。

また、とちまる募金にご協力いただいた方には、お礼のカーネーションがプレゼントされた。

**Fight!**



そこで当協会では、同レストラン街(16店舗)で、昨年度開催し好評だった「栃木のいちご“とちおとめ”スイーツフェア」を、4月22日(金)～27日(水)の6日間、『大好き!「栃木県産」“とちおとめ”スイーツフェア』と題して限定復活させ、栃木県産の美味しい「とちおとめ」を提供した。

アルパB1カフェ&ダイニングの“もちもちとちおとめロールケーキ”は、もちもちの生地ととちおとめの酸味がベストマッチ。



フェアの開催を通し、県外の消費者に対して、栃木県産農産物の品質の良さのPRとイメージアップを図り、本県への誘客促進を行った。

また、応援ポスター・ステッカーを協力店舗に掲示し、栃木県産農産物の安全性をアピールした。



## 生産者の情熱が高い品質を作り出す

3月11日に起きた東日本大震災および福島原発事故は、栃木県の農業に大きな影響を与え、停電などによる実害だけでなく風評被害などが発生した。

このような中、安全・安心で高品質な農産物を提供する生産者の皆様に、お話をうかがった。

### ねぎ



震災以降、野菜の価格が安くなっています。野菜全般に生産履歴記帳やGAPに取り組み安全・安心な農産物を届けています。私の栽培しているハウス軟白ねぎは、生食でも食べられるねぎです。厳選した有機質肥料を使用して、食味や美味しさを追求しています。



マーケティング協会 野菜部会  
村上部会長 (JAなすの)

栃木のねぎは、秋から冬に収穫される秋冬ねぎを中心に、那須地区を中心としたハウス軟白ねぎの周年出荷や県内各地でトンネル栽培での夏ねぎが出荷され年間を通じた出荷をしています。

### トマト



震災時の停電や計画停電で、ハウスの温度管理ができず、苗が全滅して出荷できない生産者もいます。一生懸命栽培した新鮮で美味しいトマトをぜひ食べてください。



マーケティング協会 トマト専門部  
野口専門部長 (JAうつのみや)

栃木のトマトは豊富な日照と肥沃な大地、澄んだ水などの恵まれた自然環境を活かして栽培されています。

### いちご

栃木県は生産量日本一のいちごの産地です。栃木のいちごの主力品種である「とちおとめ」は大きくて甘みがあるのが特長です。



マーケティング協会 いちご部会  
館野部会長 (JAはが野)

とちおとめは、甘さ・酸味のバランスが良く、おいしいです。有機質肥料を使用した土づくりを心がけています。生産者が栽培にこだわったいちごを、ぜひ食べてください。

### なし

美味しさは生産者の管理しだいで決まります。土づくりに力を入れ美味しい梨づくりに取り組んでいます。ハウス梨は7月上旬から、露地栽培の梨はお盆頃に出荷されます。甘くて新鮮な梨を食べてください。

梨栽培品種は「幸水」「豊水」が中心で、大玉で甘い晩生種の「にっこり」や、果肉が軟らかく甘い「あきづき」が増えています。出荷は7月より「幸水」・「豊水」・「あきづき」、10月からは「にっこり」と続きます。



マーケティング協会 果樹部会  
田口部会長 (JAはが野)

### にら



全国2位の生産量を誇る栃木のにら。1年を通じて出荷があり、栄養たっぷりです。スタミナ抜群。カリウム・カルシウム・鉄分を豊富に含む栄養食品です。



JAかみつが 鹿沼にら部  
高橋部長

栃木のにらは年間を通して出荷され、茎が太く、葉幅も厚いのが特長です。甘みがあって風味が良く美味しいので、ぜひ食べてください。

### 今後の予定

5月12日(木)

5月16日(土)

5月20日(金)

協会事業説明会(全農営農経済支援部)

とちぎ産地消実行委員会(二荒山会館)

とちぎ食の推進員会議

(社)とちぎ農産物マーケティング協会(平成23年5月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>